

塚越広大 レース結果報告



2009年5月3～4日 スーパーGT選手権 GT500クラス 参加台数15台
サーキット 富士スピードウェイ

第3戦が富士スピードウェイで行われました。今回400キロという少し長いレース距離で行われ、ピットインが2回義務というルールがありました。そのため、前回までのレースとは違う作戦で行われました。

土曜日朝の公式練習では始めに年弘さんがコースインしマシンのフィーリングを確かめていきましたが、トラブルが発生してしまい途中で走行を終えマシンの修復にあたりました。

予選・・・／14位

天候・・・晴れ

始めに300クラスとの合同のセッションが行われました。最初に年弘さんがコースインして先ほどの問題箇所の確認を行いました。確認が済んですぐにドライバーチェンジしてコースインしていきましました。GTのマシンで富士を走るのは初めてだったので慎重にペースを上げていきました。チームが長く走れるように時間を作ってくれたので、時間内をフルに使いサーキット、マシンに慣れるように集中しました。そして、予選の基準タイムをクリアし、300クラスの専有時間になったためピットに戻りました。

その後年弘さんが500専有の時間帯でベストラップを更新して賢明なアタックをしたのですが、今回はスーパーラップ進出を逃してしまいました。

決勝・・・／12位

天候・・・晴れ

日曜日の午前中に30分間の走行があり決勝に向けて走行しました。今回真ん中のスティントを担当になりNSXの特性を生かしタイヤをリアのみ交換で走る作戦になる可能性があったため、チームがその時の状況になってもいいようにシミュレーションの機会を作って頂きました。タイヤを交換してコースに入りアウトラップでタイムをできるだけ稼げるように慎重に走りながらもタイムを削るようにしました。しかし、100R出口でスピンしてしまいました。すぐに復帰しましたが、リアタイヤ交換の難しさを痛感しました。この後もう1度練習の機会を頂きレースに向けて準備することができました。

午後2時になり88周の400キロレースがスタートしました。スタートドライバーの年弘さんは前半から激しいバトルをみせ規定周回数を過ぎた31周目にピットイン、ドライバー交代しました。予定通りリアのみを交換してコースインしました。冷えているタイヤで少しでもポジションを守れるようにプッシュしたのですが、抑えきることができずポジションを落としてしまいました。タイヤが温まってからも前に行くマシンを追うことが精一杯でなかなか差をつめることができませんでした。しかし、徐々に前の集団に追いついていきチャンスが来そうなときに300クラスのマシンを抜くときにタイヤカスを拾ってしまいコースアウトしそうになってしまい差がまた広がってしまいました。その後、もう1度集団に追いつきオーバーテイクを試みました。各車ピットに戻るタイミングになり前がクリアになったときタイムを稼げるようにプッシュして1台300のマシンを使いうまく抜くことに成功してピットに戻り再び年弘さんに交代しました。

そして、400キロの長いレースを12位で終えることができました。

今回は新たにリアのみのタイヤ交換という作戦を体験しました。その時のコントロールは本当に難しく自分のスキルをもっとあげる必要があります。そうすればもっと作戦の幅も広げることができると思います。そして、途中のタイヤカスに乗ってしまいタイムロスしたことも、今後気をつけなければいけないことだと思います。300クラスの抜き方ももっといい方法があると思うので今回の失敗

を反省し次回のセパンラウンドに臨みたいと思います。暑さ対策のためトレーニングを積んでいきたいと思います

次回のレース・・・5月3、4日 富士スピードウェイ

塚越広大